



NO. 273

2016. 3. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会

大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 小泉 いと子

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

平成27年度 全国事業所研修大会・千葉大会
に参加しました(第3分科会・意思決定支援)

福島育成園 主任 山下 美保

2月20日(土)から21日(日)にかけて千葉市で開催された、全国事業所研修大会に参加しました。

今回、私は「意思決定支援の実践」というテーマの第3分科会に参加しました。内容としては、2事業所から意思決定支援の実践報告、1事業所から意思決定支援の調査研究の報告がありました。

1つ目の実践報告は、地域生活支援センターふらる(千葉市)のセンター長である佐藤氏からの実践報告でした。実際支援を受けられたご本人が登場し、今までの生活についての思いや現在の悩み、これからの希望、支援者に対して思うこと…など対談の形式による報告でした。

ご本人は大勢の参加者を前にとっても緊張した様子でしたが、佐藤氏とのやりとりの中でご本人の人物が少し見えてくるようでした。この報告で印象に残ったことは、支援者は「徹底的にご本人の希望に沿って支援することを心がけた」という言葉でした。ご本人は以前支援を受けていた施設職員の勧めで、安定した正社員の職に十数年就いていました。その後やりたい仕事が見つかり、パートという不安定な雇用形態の職種に転職を希望し、様々なリスクが想定されるため周りからも反対される中、支援者はご本人の意思を尊重し寄り添い続けている。希望を実現していく中では、うまくいかないこともある。失敗して落ち込んだり、うまく行っていたことまでうまくいなくなることもある。でも、「自分で選んで、自分で決めた」とご本人が感じることであれば、失敗しても納得できたり、またチャレンジできたり経験が自信につながるのではないかと感じました。

2つ目の実践報告は、障害者就労支援センターすき

っぷ(東京都世田谷区)の施設長である上滝氏から、就労支援と意思決定、権利擁護支援についての報告でした。

ご本人の「働きたい」という思いにしっかり耳を傾け、適切な情報提供を行い失敗も含め経験する機会を設け、自身の決定を支える。失敗したときの支援体制を整え支援を行うことが必要という内容でした。この報告の中で、ご本人の希望と適性に乖離がある場合や、ご本人とご家族の希望に乖離がある場合、どう支援していくのかという話がありました。どちらも就労支援の場面に限らずよくあることだと思います。どちらもご本人の希望や思いを中心に考え、体験をすることで自身を知る機会を作る。ご家族へはご本人の様子を細かく伝えることで、ご本人の意思や希望への理解を促すことが必要なのだと、改めて感じました。

3つ目の報告は実践報告ではなく、北九州市手をつなぐ育成会事務局の松崎氏と奥村氏による、意思決定支援に関する調査研究についての報告でした。

調査研究は、①現場で行われている意思決定支援の実態を調査し、課題等についてまとめる ②現場でよりよい意思決定支援を行うために必要な視点や工夫を考える という2つの目的のために2年間をかけて実施されたそうです。

1年目の調査段階では、研究員が法人内対象事業所で支援場面を観察・記録し、集めた記録を考察・分析して課題抽出を行う。

2年目は、抽出された課題について、調査対象事業所の職員でグループディスカッションを行うという内容でした。

表現が適切かはわかりませんがとても斬新な取り組みで、現場で支援をしている私たちとしては耳が痛いことも多々あると思いました。しかし、自らの支援について振り返り支援者同士で意見交換をする事が、より良い支援に繋がるのではないかと感じました。